

科目	神経筋障害理学療法学実習	担当	江西 一成	履修学年	3年
時間数	90分×時限×24回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

神経筋障害に対する治療において、理学療法の関与は重要な位置を占めている。前期で習得した各種疾患や重症度の症例に対する理学療法を、その運動療法に至るまでの一連の評価、統合と解釈、理学療法内容の立案などの過程を、学生自らが考え・体験することでその実際を総合的に学習する。この講義では、リハビリ対象者の理学療法に至るまでの一連の流れを理解し、意味のある有効な理学療法内容を提示できることを目標とする。

【履修注意】

臨床実習に直結する内容を含んだ科目なので、積極的かつ能動的な姿勢で授業に臨むことを要求する。

前期の「神経筋障害理学療法学」の単位取得を専修要件とし、単位未修得の場合、本科目の受講はできない。

【評価方法】

期末試験・出席状況・授業態度・課題レポートなどで総合的に評価する。

【試験について】

筆記試験・実技試験

再試験対象者の条件： 再試験は行わない

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要です。

【教科書】

中枢神経障害理学療法学テキスト第2版(購入済み)

【参考書】

特になし。

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1・2	オリエンテーション・前期授業補足	前期授業の総括、後期症例シミュレーションの進め方、他
3・4	疾患・障害の理解、評価手順	プレシミュレーション、評価手順シナリオの提示
5・6	神経筋障害症例の理学療法①	シミュレーション患者のプレゼンテーションと実技
7・8	神経筋障害症例の理学療法②	シミュレーション患者のプレゼンテーションと実技
9・10	神経筋障害症例の理学療法③	シミュレーション患者のプレゼンテーションと実技
11・12	神経筋障害症例の理学療法④	シミュレーション患者のプレゼンテーションと実技
13・14	神経筋障害症例の理学療法⑤	シミュレーション患者のプレゼンテーションと実技
15・16	神経筋障害症例の理学療法⑥	シミュレーション患者のプレゼンテーションと実技
17・18	神経筋障害症例の理学療法⑦	シミュレーション患者のプレゼンテーションと実技
19・20	神経筋障害症例の理学療法⑧	シミュレーション患者のプレゼンテーションと実技
21・22	種々の神経筋疾患	脱髄疾患、脊髄疾患、ニューロパシー、末梢神経損傷、重症筋無力症、筋疾患などの理学療法
23	定期試験	まとめ